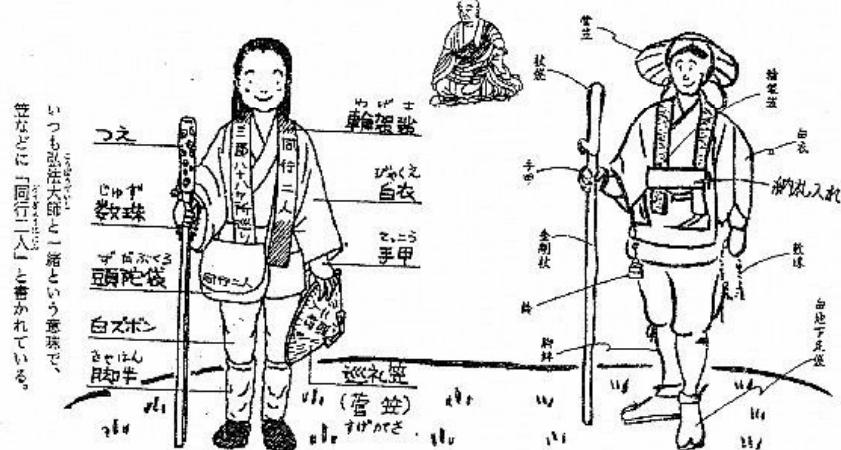


越谷市郷土研究会主催

第133回 研究発表会

『越谷周辺の諸巡礼』



いつも僧侶大師と一緒にどう着装で、
笠などに「同行二人」と書かれている。

日 時 平成15年1月26日(日)

午後1時30分~

場 所 越谷産業会館

講 師 常任理事 高崎 力

越谷周辺の諸巡礼

古國協同

力

関係ある諸巡礼の成立期（あくまでも推定の域を説しない）

元慶 二（八七八）

七高山 阿闍梨・「三代実錄」一月十三日条、「山岳修驗山岳信仰

平安末

熊野詔始まる、往後一七〇キロメートル、一か月、未法思想と禪陀落渡海

長保年間（一〇〇〇頃）

花山法皇、書写山円教寺の性空上人の支援にて「西国三十三ヶ所觀音靈場」を成立させた

天福 二（一一三四）

坂東三十三ヶ所觀音靈場ができる・八溝山日輪寺の觀音像台座銘から

文明 三（一四七一）

高知県本川村地主地蔵堂に「西國遍路」の最古の鰐口あり

長享 二（一四八八）

秋父觀音靈場三十二番法性寺に最古の札所番付あり

寛永 後期

庶民の間に「伊勢參り」始まる、当初は外宮

天文 五（一五三六）

西國・坂東・秩父を合わせて「百觀音靈場」となる

貞享 四（一六八七）

真念著「西國遍路道指南」出版

元禄 元（一六九七）

武藏国三十三觀音靈場できる・縁起書から

寛保 二（一七四二）

富士講成立する・「江戸町触れ」から

寛政 十（一七九八）

埼玉八十八ヶ所・鷺宮町、幸手市、杉戸町、久喜市、加須市、白岡町、吉代町にまたがる

文化 二（一八〇五）

三郡八十八ヶ所靈場成立・鳩ヶ谷の辻の真福寺の標柱塔の銘から

文化十三（一八一六）

庄内領新四国八十八ヶ所・庄内領が中心

天保 三（一八三二）

因幡領八十八ヶ所靈場成立・足立区花畠の正覺院の供養塔の銘から

天保三（一八三二）

江戸金毘羅講始まる・四國丸龜の記録から

天保十一（一八四〇）

武藏国新四国八十八ヶ所靈場成立（文化二年の八十八ヶ所の再興）

明治十七（一八八四）

三郡送り大師講始まる・越谷市蒲生の光明院の石碑から

（三郡送り大師は天保十一の八十八ヶ所の再興）

（1）新四国八十八ヶ所靈場の成立（西國以外の八十八ヶ所には全て「新」を冠する）

（1）全國に成立（流行）した八十八ヶ所

寛永年中（一六四〇頃）

三河八十八ヶ所

貞享 三（一六八〇）

瀬戸内小豆島八十八ヶ所

元禄 四（一六九一）

伊奈・諫訪八十八ヶ所

宝曆 元（一七五一）

江戸府内八十八ヶ所

など二十七地域に成立し、その後も増加し、全國百五十ヶ所余の地域に誕生する

（2）越谷周辺の新四国八十八ヶ所

新四国相馬八十八ヶ所 取手・我孫子・柏（庶民の人気が高かった）

南葛八十八ヶ所 旧葛飾郡の南部

荒川辺八十八ヶ所 芳賀・荒川・足立・葛飾・墨田・江東・北の各区

北足立八十八ヶ所 大宮・与野・浦和・蕨・川口・日高・鳩ヶ谷・朝霞の北足立郡内

◇荒綾八十八ヶ所 足立区・葛飾区・八潮市

◇四箇領八十八ヶ所 湯江領・葛西領・二会半領・八条領の四領

◇三郡八十八ヶ所 南足立郡・北足立郡・南埼玉郡の三郡

◇武藏國八十八ヶ所 南足立郡・北足立郡・南埼玉郡の三郡（前述の再興）

◇三郡送り大師八十八ヶ所 吉川を中心の中川筋、明治三十七年（一九〇四）成立

庄内領新四国八十八ヶ所 庄内領を中心に文化十三年（一八一六）成立

埼東新四国八十八ヶ所 鶴ヶ町（一番は東光山留藏寺）・幸手市、杉戸町、久喜市、加須市、白岡町、吉代町

◇印は、五智山遍照院總持寺（通称、西新井大師）を「霊寺」とする

（1）西國三十三ヶ所觀音靈場の成立

熊野から岐阜までの関西圏の有名寺院

(2) 坂東三十三ヶ所観音靈場

鎌倉（一番～四番）から関八州を一巡して、房州那古觀音まで

昔は、三四〇里、徒步六〇日、馬籠五〇日の行程

(3) 埼玉県内の三十三ヶ所觀音靈場

文暦元（一二三四）秩父三十三ヶ所（後に三十四ヶ所）觀音札所・性空上人説

元禄一〇（一六九七）武藏國三十三ヶ所觀音札所

吉川、三郷、葛飾区、足立区、川口、八潮、越谷、松伏

元禄一五（一七〇一）足立坂東三十三ヶ所觀音札所

桶川、伊奈、鴻巣、北本、上尾、大宮

宝永二（一七〇五）足立坂東三十三ヶ所札所

比企西国三十三ヶ所札所

東松山、吉見、川島、嵐山、滑川

享保八年（一七二三）

高麗三十三ヶ所觀音札所

飯能、日高、入間

明和年間（一七七〇頃）狹山三十三ヶ所觀音札所

所沢、入間、東村山

入比坂東三十三ヶ所觀音札所

都幾川、玉川、鳩山、入間

忍三十四ヶ所觀音札所

熊谷、妻沼、川本

新秩父三十四ヶ所觀音札所

大宮、浦和

庄内領新坂東三十三ヶ所觀音札所

四 その他

◎伊勢参り 御師（おんし）、伊勢曆、大麻（たいま）、伊勢講、抜け参り、お陰参り、内富と外富

末法思想、補陀落信仰

◎熊野詣

承和三年（八三六）

◎七高山の定め

承和三年（八三六）

伯耆大山（ほうちだいせん）、伊予石龜山（いしづちさん）、筑紫英彦山（ひこさん）、

越中立山（たてやま）、信濃戸隠（とがくし）、出羽三山、大和大峯（金峯山・きんぶせん）

◎善光寺参り 西国、坂東、秩父、の觀音巡礼の最終の結願寺（けちがんじ）

安永七（一七七八）の西国回向院の出開帳

六〇日間、参詣人は千六百三万八千人、賽錢は二万一千六百兩、酒樽二万一千九百十一樽

◎富士講

「東京千住一心講」と越谷の浅間社

◎金毘羅参り 東京金毘羅講と越谷宿人

◎六十六部

（主な引用資料）

八潮市史「近世」、南川崎・曾門寺誌、八条・清勝院文書、草加史談会「草加界隈の巡礼信俗」、

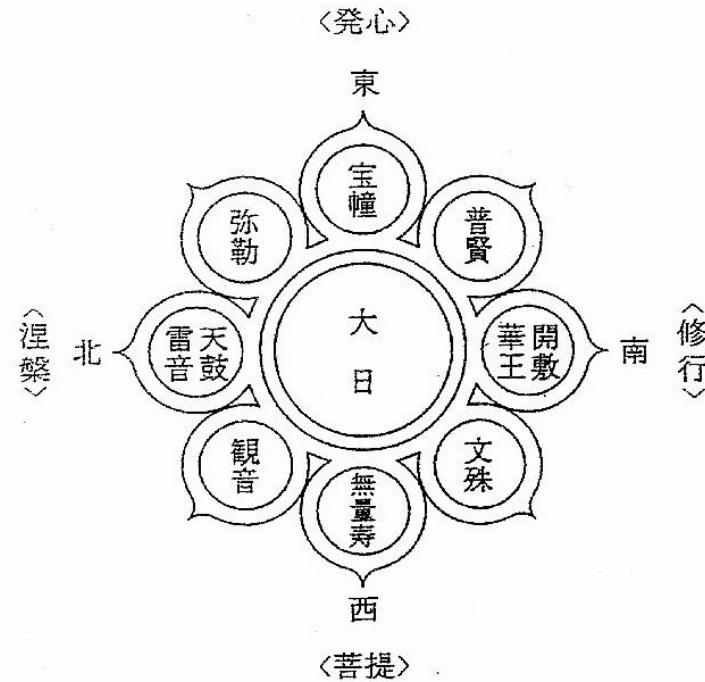
講談社「日本の古寺名刹」、河出書房「旅の民俗史」（若井宏實著）、雄山閣「歴史公論・江戸時代の民間信仰」、

毎日新聞「空海と遍路文化展」、「庄和の巡礼」（庄和高校地歴部、一九九三年九月発行、顧問遠藤光司氏）

（情報資料提供者）

足立区西新井・緑待寺、越谷市蒲生・光明院、吉川・延命寺、戸ヶ崎・常楽寺、越谷市相模町・池田仁氏

中台八葉院の構成



(方位)

天鼓
雷音
無量壽
壽王
開敷
華蓋
寶幢
佛名

(四轉)
涅槃
菩提
修行
發心

京都から母親とともに遍路に出た丹波屋作右衛門の手形で、別の紙に包まれている。作右衛門は一向宗(浄土真宗)の門徒であり、四国遍路が宗派などに關係なく行われたことを示す。また、「途中ニ而病死等仕節にハ其所之御作法通り御葬埋其節國本へ御届ケ不及」と記されている。形式はやや異なるが、遍路の途中で没しても国元に知らせないでよいという、いわゆる捨往来手形に類するものである。

往来手形

一 京都田中野二萬町舟橋町御在處
歳因(年)三十歲者家者代
白宗柳寺釋教修事者參人般
心續(心経)に至近便(近便)御開(御開)
御開(御開)云故障(故障)事(事)事(事)事(事)
更前(更前)一萬(一萬)年(年)年(年)年(年)
龜(龜)大(大)是(是)事(事)事(事)事(事)事(事)
天保(天保)年(年)年(年)年(年)年(年)

清淨(清淨)手形

五月
日

主者(主者)家(家)入(入)

圓滿(圓滿)

佛國(佛國)

五福(五福)



四国八十八ヶ所お砂踏本尊図

四国八十八ヶ所靈場会所藏の本尊図である。

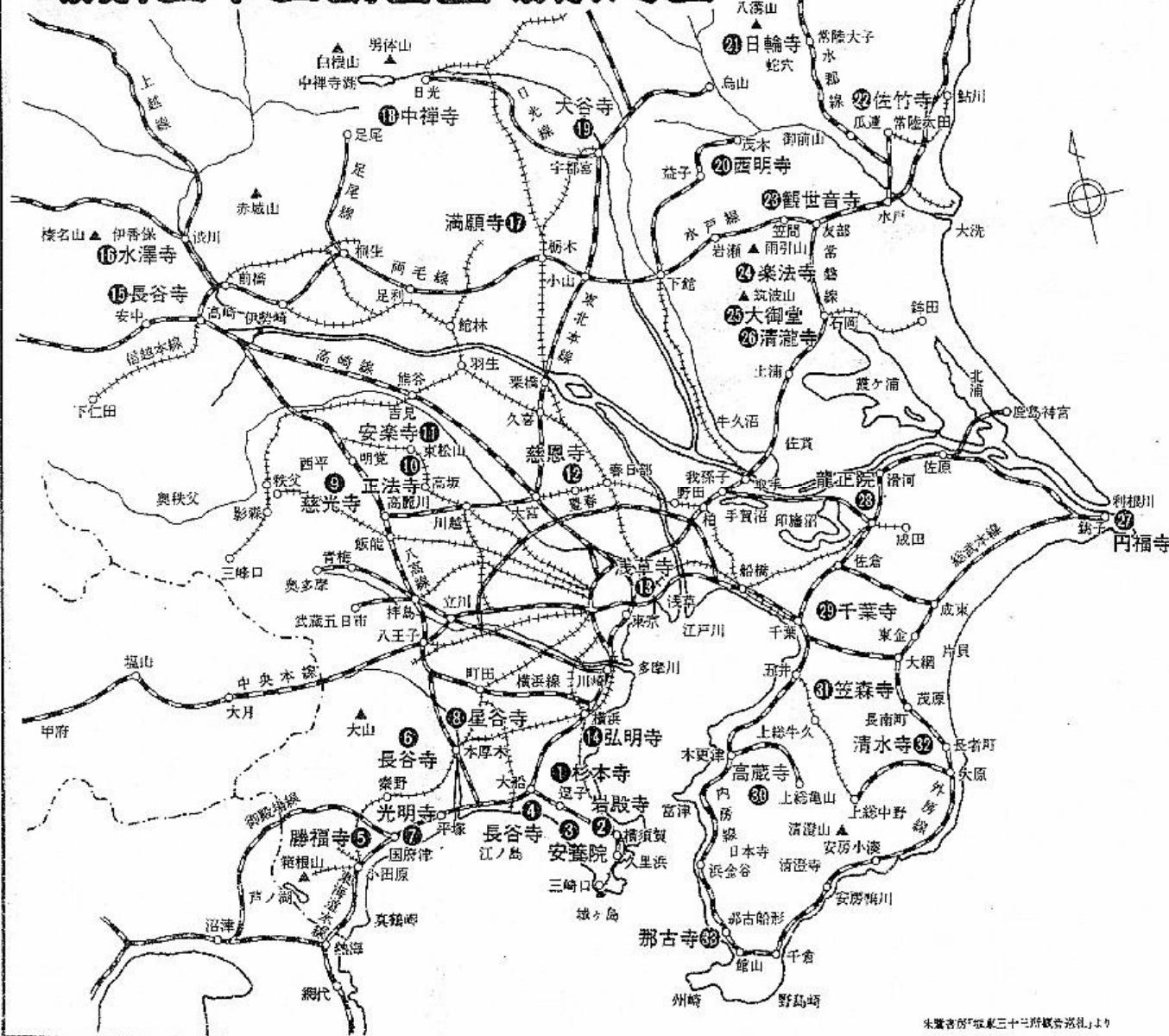
お砂踏本尊とは、四国靈場へ来ることの出来ない人のために、札所寺院境内の土（お砂）を本尊図といつしょに持ちはこび、その地方に出張し設営しておがんでもらう礼拝対象をいう。

江戸時代中期頃にこの本尊図像がまとまつたと考えられるが、現存するものは法楽寺（大阪・田辺）の江戸後期の八十八幅が完本である。明治期には、靈場寺院でも木版の小幅本が活用され、毎年十月二十一日にお砂踏みが行われたこともあつたようである。本図は、下図から長い歳月を要し、彩色本に仕上げている。靈場会本部の尽力により、各部会の承認を得て制作委員会を結成し委員会を立江寺住職庄野光昭師に依頼した。そのあいだ監修も含めて委員会が何度も技術的な検討を重ねながら、実現・完成に至つた。制作にたずさわった絵師は真鍋俊照（号香川写人）ほか、仏教美術会工房の二十二名である。法楽寺本、立江寺本の図様を参照し、表装も四県別に裂地を変え工夫されている。八十八幅に弘法大師像（挿図）を加えて、八十九幅を一具とする。（真鍋俊照）

弘法大師像



坂東三十三観音靈場案内図



序 番号	寺院名	註述(小有附・合數 大(大型)・音(普通))	紅葉 料各
①	杉本寺	第 (近に松堂註記有)	
②	岩殿寺	音 3	
③	安養院	大 2 音 5	
④	長谷寺	大 4 音 35	要
⑤	勝福寺	大 3 音 20	
⑥	長谷寺	大 音上 音 50	
⑦	光明寺	大(注記)(2厚地土手) 音 10	
⑧	星谷寺	大 3 音 10	
⑨	慈光寺	大 3 音 10	
⑩	正法寺	音 20 (市町村註記有)	
⑪	安樂寺	大 3 音 30	
⑫	慈恩寺	大 5 音 30	
⑬	凌草寺	第 (近に松堂註記有)	
⑭	弘明寺	大(注記)(2厚地土手) 音 20	
⑮	長谷寺	大 4 音 20	
⑯	水澤寺	大 30 音 300	
⑰	滿願寺	大 6 音 120	
⑱	中華寺	大 30 音 50	
⑲	大谷寺	大谷寺寺用 音 10 (市町村註記 大 30 音 10)	
⑳	西明寺	音 30	
㉑	日輪寺	音 30	
㉒	佐竹寺	大 3 音 10	
㉓	觀世音寺	大 30 音 100 (市町村註記有)	
㉔	樂法寺	大 20 音 200	
㉕	大徳堂	音 100	
㉖	清露寺	大 6 音 15	
㉗	円福寺	大 3 音 20	
㉘	龍正院	大 3 音 10	
㉙	千葉寺	大 2 音 10	
㉚	高麗寺	大 3 音 25	
㉛	笠森寺	大 5 音 40	
㉜	清水寺	大 5 音 30	
㉝	郡古寺	大 5 音 30	

音觀慈恩寺十二番坂東



慈覺大師
慈覺大師日光山より李を擲かひふ虚空を飛で當り止
一夜の破茂一名工成多門老翁と化く大師あ奉一それば
三室兵陰の地多きを度此世下の草菴をひきび住ゆ
此池小住む龍女も大師の法徳をうらめ多也
天竺無執地の水を尚もとのひツ蛇舎を
顯く池中へうなれ大師解脱の
法會を施し之ハ
池中み七ツ



坂東十二番音觀慈恩寺

各所坊ガイド

※寺々にはお休みがありませんので、納経時間はお守りいただきたく、また昼食時間もご退席下されば有難く存じます。

札所番号	寺院名	通称名	ご本尊	所在地・電話番号	最寄駅	みどころ	拝観料	納経時間
①	大藏山 杉本寺	杉本觀音	十一面觀世音	神奈川県鎌倉市二階堂 0457-22-3463	JR 鎌倉駅	鎌倉最古の仏地	200円	午前8時～午後5時半
②	蛭塹山 岩殿寺	岩殿觀音	十一面觀世音	神奈川県鎌倉市久保 0457-22-2268	JR 逗子駅	文豪泰翁花よりの寺「越花の池」弘法大師作の 文豪像。島の坂上一畝敷石仏		午前8時～午後5時
③	紙慶山 安養院	田代觀音	千手觀世音	神奈川県鎌倉市大町 0457-22-C806	JR 鎌倉駅	北条政子開基の寺。春に咲くつつじが美しい。	100円	午前8時～午後4時半
④	蓮光山 長谷寺	長谷觀音	十一面觀世音	神奈川県鎌倉市長谷 0457-22-6200	JR 長谷駅	木蓮十一面觀音菩薩は本邦最大の木彫仙人。 境内よりの絶景は有名である。	大人 300円 (夏)午前8時～午後5時 (冬)午前8時～午後4時半	
⑤	雲泉山 鎮福寺	坂泉觀音	十一面觀世音	神奈川県鎌倉市奥葉山 0455-47-3413	JR 小田原駅	馬頭観音金堂。天然記念物大根姫。 二重塔最初階は天然記念物。		午前8時～午後5時
⑥	飯上山 長谷寺	飯山觀音	十一面觀世音	神奈川県厚木市飯山 046-241-1635	JR 本厚木駅	春に咲く3000本の桜は美しい。		午前8時～午後5時
⑦	金目山 光明寺	金目觀音	聖觀世音	神奈川県厚木市鶴金目 0453-58-0127	JR 小田急 本郷駅	国指定重要文化財の本堂厨子。 県指定重要文化財の本堂・仁王像・銅鐘。	(夏)午前8時～午後5時 (冬)午前8時半～午後4時半	
⑧	妙法山 星谷寺	星の谷觀音	聖觀世音	神奈川県鎌倉市八ヶ 046-251-2266	JR 産業間駅	龍燈・狛犬分けの棒、枝下り紅葉・星の木橋の化石、 霞草、不斷綱の七不思議あり。	(夏)午前8時～午後5時 (冬)午前8時～午後4時半	
⑨	御壁山 慈光寺	慈光寺	十一面千手觀世音	埼玉県比企郡嵐山町御壁 0493-67-0040	JR 明覚駅	静かな山寺。桜は女性の慈光山を連想して修行する寺 で文化財の宝庫である。	(夏)午前8時～午後5時 (冬)午前8時半～午後4時半	
⑩	華嚴山 正法寺	岩殿觀音	千手觀世音	埼玉県比企郡嵐山町岩殿 0493-34-4188	JR 高坂駅	東武・JR・JR東日本自然公園の生まれた環境での春のつづ じ・秋の紅葉の景は圧巻である。	(夏)午前8時～午後5時 (冬)午前8時～午後4時半	
⑪	岩聲山 安樂寺	吉見觀音	聖觀世音	埼玉県比企郡吉見 0493-54-2888	JR 葉松山駅	聖観文の三重塔と本堂。春のほたん・つづじ。秋の かえで。厄除の觀音様。	(夏)午前8時～午後5時 (冬)午前9時～午後4時半	
⑫	翠林山 慈恩寺	慈恩寺觀音	千手觀世音	埼玉県比企郡嵐山町翠林 046-794-1354	JR 芽春駅	東武・JR・JR東日本名古屋・慈恩寺延命を証 されたのはこの方である。		午前8時～午後5時
⑬	金嶺山 浅草寺	浅草觀音	聖觀世音	東京都墨田区押上 03-5842-0181	JR 浅草駅	年間400万人の参拝者で繰り広げ観音信仰の中心道 場。江戸第1番参道でもある。	(夏)午前8時～午後5時 (冬)午前6時半～午後5時	
⑭	瑞應山 弘明寺	弘明寺觀音	十一面觀世音	神奈川県横浜市西区 045-711-1231	JR 弘明寺駅	二重塔の十一面觀音像。(墨文)	300円	午前9時～午後4時
⑮	白岳山 長谷寺	白岳觀音	十一面觀世音	神奈川県秦野市白岳 0273-43-0349	JR 高崎駅	お前立ちご本堂。本堂向拝の形刻。天人奏楽の天井 画。		午前8時～午後5時
⑯	五瀬山 水澤寺	水澤觀音	千手觀世音	西高麗寺跡(伊豆半 0279-72-3619	JR 沼津駅	六戸二重塔(開闢6年後)。		午前8時～午後5時
⑰	出雲山 醍醐寺	出雲觀音	千手觀世音	西木曽郡木曽町出雲 0282-31-1717	JR 木曽駅	木曾の駿河谷と真の駿河乳洞。出雲山会館に200名宿 泊可能。		午前8時～午後5時
⑱	日光山 中峰寺	立木觀音	千手觀世音	新木曾郡木曾町中峰 0268-55-0013	JR 日光駅	西暦784年に日光開山跡直上の創建。五大堂・波之 大崩天変・受命堂の建物あり。	大人 300円 小学生 100円	4月～10月8時～5時・11月3時～4時 12月～2月8時40分～3時・1月10時～4時
⑲	天降山 大谷寺	大谷觀音	千手觀世音	新木曾郡木曾町大谷 0268-55-0126	JR 宇都宮駅	日本最古の石造(国指定特別史跡・重要文化財)。 興滅時代の人気(1100年前)土蔵石数。	大人 300円 小学生 100円	4月～10月8時半～5時 11月～3月9時～4時(休業日あり)
⑳	瑞姑山 西明寺	西明寺	十一面觀世音	新潟県糸魚川市瑞姑 0285-72-2957	JR 益子駅	聖門・三重塔・美しい閻魔。音門院修業所(入院可)。		午前9時～午後5時
㉑	八瀬山 佐輪寺	八瀬山	十一面觀世音	愛媛県久居郡大字 02957-7-0552	JR 善臨大字駅	本堂・十一面觀音菩薩(弘法大師作)坂東丸所の難所 (八瀬知らるる)の難所。	1,2月開山	(夏)午前8時～午後5時 (冬)午前8時半～午後4時
㉒	妙高山 佐竹寺	北向觀音	十一面觀世音	茨城県つくば市佐竹 0294-72-2073	JR 善臨太田駅	水安(觀音寺)・耕山時代建築の先駆として知られ明治 35年國宝に指定されている。		(夏)午前8時～午後5時 (冬)午前8時半～午後4時
㉓	庄三山 救世音寺	佐白觀音	十一面千手觀世音	茨城県筑西市庄三 0296-72-1332	JR 立間駅	鎌倉初期の千手觀音座像(4月17日のみ)。 古朝時代の方前立三尊像。春のつづじ。		(夏)午前8時～午後5時 (冬)午前8時半～午後4時
㉔	南引山 義法寺	雨引觀音	延命觀世音	茨城県筑西市大利 0296-58-5009	JR 岩槻駅	春の桜に始まり新緑、続いてほたん・あじさい(4月初 7月中旬)・秋に紅葉。		午前8時半～午後5時
㉕	筑波山 大御堂	大御堂	千手觀世音	茨城県つくば市筑波 0298-66-0126	JR 土浦駅	延丈8尺の御本尊常時拝観可。筑波山の眺望・梅、 松、紅葉、四季絶景。		(夏)午前8時～午後5時 (冬)午前8時半～午後4時
㉖	南朝山 清瀧寺	聖觀世音	聖觀世音	茨城県筑西市南朝 0298-62-4576	JR 土浦駅	けうき・本殿の御本尊拝観可。ユーモア村、フラワ ーパーク、梨、栗、柿園並走。		(夏)午前8時～午後5時 (冬)午前9時～午後4時
㉗	鹿児山 円福寺	坂招觀音	十一面觀世音	千葉県夷隅郡鹿児 0279-22-1741	JR 銚子駅	鎌倉初期の千手觀音坐像。天保木造伝で知られ る美姿な鉢底の蔓など。		午前8時～午後5時
㉘	清瀧山 鎮正院	清瀧院	十一面觀世音	千葉県夷隅郡千葉 0476-96-0217	JR 清瀧駅	美濃文化財仁王門・唐文化財木造・剣持室壁印塔。 町内文化財持松・石造宝印塔。		(夏)午前8時～午後5時 (冬)午前8時半～午後4時
㉙	海上山 千葉寺	千葉寺	十一面觀世音	千葉県夷隅郡中央 0432-61-3723	JR 千葉駅	桜・牡丹。		午前8時～午後5時
㉚	平野山 高蔵寺	高蔵觀音	正觀世音	千葉県夷隅郡中央 0438-52-2675	JR 木更津駅	宝印末期建造の本堂(床高6尺、16面取り柱58本で 珍しい)百觀音堂の珍し本堂。		午前8時～午後5時
㉛	大瀬山 笠森寺	笠森觀音	十一面觀世音	千葉県夷隅郡中央 0475-48-0536	JR 茂原駅	觀音堂は国宝最勝院と云う珍しい複数体で国の重要文 財に指定。境内は国指定天然記念物である。	大人 100円 (夏)午前8時半～午後4時半 (冬)午前8時半～午後4時	
㉜	吾羽山 清水寺	清水觀音	千手觀世音	千葉県夷隅郡吾羽 0470-87-8380	JR 長者町駅	境内と山頂の千葉県立環境保全地区に又「虎 の谷」魅力500選に登っている。		午前8時～午後5時
㉝	崎崎山 古寺	羽古觀音	千手觀世音	千葉県夷隅郡吾羽 0470-27-2444	JR 崎崎駅	我孫堂に向ひ合う複数のかなゝ瀬ヶ浦の眺望。墨丈文 書手觀音像後・奥青形の多宝塔。		午前8時～午後5時

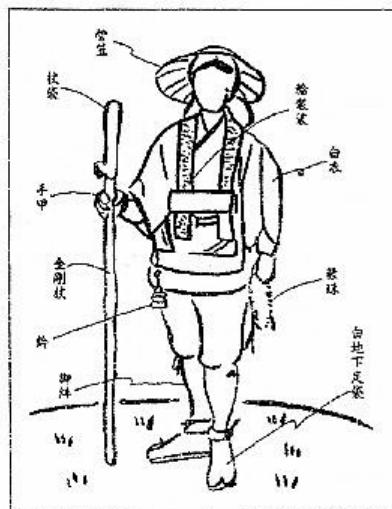
巡礼心得の事

- 一、第一信にて聲音の御名を唱うべきこと。
- 一、手を洗ひ心を持って送れすべし。
- 一、もろもろの生垣越すべからず。
- 一、はら腰ぬつけもつべし。
- 一、酒をすこすべからず。
- 一、両口吐きなきようつしませし。
- 一、身のまわり軽く空瓶も少しあらべし。
- 一、えび主人に荷物ようしやあるべし。
- 一、まゆの養生すべし。
- 一、日のうちには早く寝を算らべし。
- 一、夜とかにやどを出まじきこと。

参拝方法

- 一、社場へ入ったら、まず水屋で口をすすぎ、手を洗う。
- 二、禮拝で掌を打つ。(自由に打てるところのみ、寺拝後は
戻り籠になるので絶対打ない)
- 回向文持向(入口)で所定の箱に納札、写經を納める。
- 回向灯明、豫香、愛錢をあげる。
- 回向本尊をむし、合掌し領説。(心経、般若経、十句説音
経、本尊名号、回向文など)
- 回向縁所で所定の納経料を納め、精縁帖、柏、おいざる
などに譲り合いのところで納経印をしていただく。

(図解) 装い



關東主要參拜旅行地

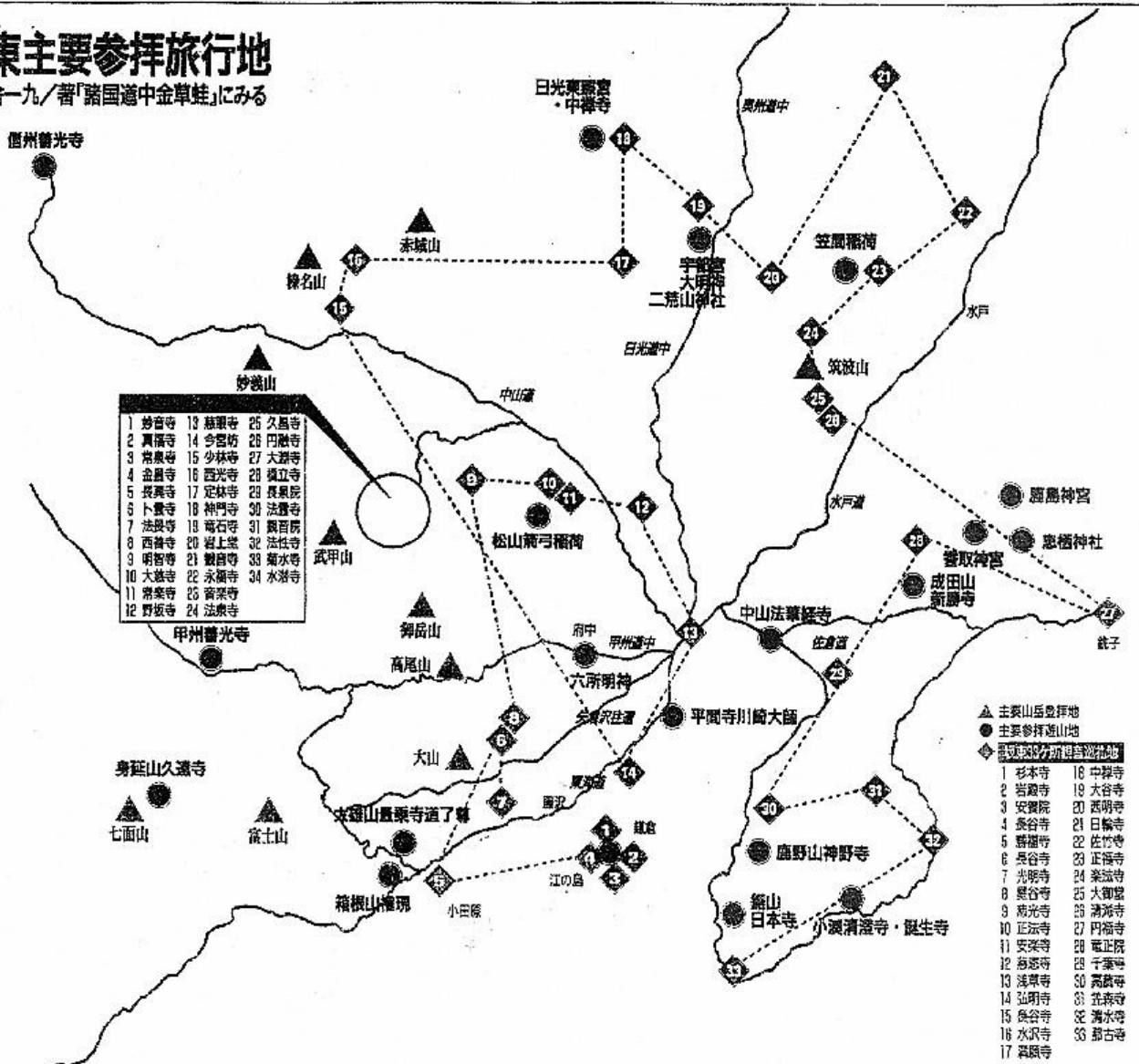
十返舎一九著「諸国道中金草蛙」にみる

庶民の旅と祈り

江戸時代には、街道や宿場の整備もあって、参勤交代で往復する武士の旅はもとより、上方や江戸を往来する商人の旅や、信仰・物見遊山を目的とする庶民の旅が発達した。

江戸市中や近郊には、ミニ靈場の巡拝コースや六阿弥陀・七福神などさまざまな神仏への参拝地が数多く設けられた。こうした江戸の神社仏閣は行楽地と重なり、しだいに江戸名所として多くの出版物によって紹介され、江戸の人ばかりでなく地方から来た人びとの江戸めぐりをさかんにさせた。

さらに人びとは、友人や家族、あるいは職業を縁とした仲間や講をつくって江戸を抜け出し、^{おおやま}大山や富士山、江ノ島や成田などへの参詣や物見遊山の旅を大いに楽しんだ。参拝をかねて観光名所をめぐり、各地の情報を見聞して帰ってくる当時の旅は、日常生活を活性化する役割を果たしていた。



各所ガイド

※寺々にはお休みがありませんので、納経時間はお守りいただきたく、また昼食時間もご選択下されば有難く存じます。

番号	寺院名	通称名	ご本尊	所在地・電話番号	最寄駅	みどころ	拝観料	納経時間
①	大慈山 杉本寺	杉本觀音	十一面觀世音	神奈川県横浜市第二保育園 0457-22-3463	JR 鎌倉駅	諸食寺古の仏地	200円	午前8時～午後4時半
②	清風山 岩殿寺	岩殿觀音	十一面觀世音	神奈川県厚木市久木 0468-71-2268	JR 逗子駅	文政永掛花かりの寺「鉢伝の池」弘法大師作の爪搔地蔵。日の塗十一面觀音石仏		午前8時～午後5時
③	誠心山 安養院	田代觀音	千手觀世音	神奈川県横浜市大字 0467-22-C808	JR 鎌倉駅	北条氏子開基の寺、春に咲く五つじが美しい。	100円	午前8時～午後4時半
④	若光山 長谷寺	長谷觀音	十一面觀世音	神奈川県横浜市鎌倉 0467-22-6300	JR 長谷駅	本尊十一面觀音菩薩は本邦最大の木彫仏。境内入りの詔題は絶景である。	大人 300円 小学生 100円	(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前8時～午後4時半
⑤	般若山 醍醐寺	坂泉觀音	十一面觀世音	神奈川県横浜市鶴見 0465-47-3413	小田原駅	馬文化博物館、天然記念物大袋帯。二宮堂と初発合掌堂。		午前8時～午後5時
⑥	萬上山 長谷寺	祇山觀音	十一面觀世音	神奈川県横浜市祇山 046-241-1653	小田原駅	春に咲く3000本の桜は美しい。		午前8時～午後5時
⑦	金目山 光明寺	金目觀音	聖觀世音	神奈川県厚木町高木目 0463-5B-0127	秦野駅	国指定重要文化財の本多菊次、県会文重要文化財の本堂、仁王像、炳燈。		(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前8時半～午後4時半
⑧	妙法山 金剛寺	星の谷觀音	聖觀世音	神奈川県厚木市入谷 045-251-2266	座間駅	鐘楼、吳三分为修、根元に紅葉、屋の井拂の化石、觀音堂、不動堂の七不思議あり。		(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前8時～午後4時半
⑨	都慈山 慈光寺	慈光寺	十一面千手	神奈川県横浜市都筑区 0493-67-0040	JR 明覚駅	静かな山中、昔は女性の登山を遠慮して修行する寺で文化財の宝庫である。		(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前8時～午後4時半
⑩	廣教山 正法寺	岩殿觀音	千手觀世音	神奈川県横浜市都筑区 0493-34-4156	高坂駅	県立企画丘陵自然公園の恵まれた環境での春のつつじ、秋の紅葉の美は圧巻である。		(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前8時～午後5時
⑪	岩殿山 安樂寺	吉見觀音	聖觀世音	神奈川県横浜市青葉区 0493-54-2898	東京 東松山駅	県立文三山堂と本堂、春のはたん、つつじ、秋のかえで、厄除の御香爐。		(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前8時～午後4時半
⑫	平林山 慈愍寺	慈恩寺觀音	千手觀世音	神奈川県横浜市青葉区 045-794-1354	豊春駅	宝塔は藍色骨壇であり、孫悟空で有名な燃若心経を訃されたのはこの方である。		午前8時～午後5時
⑬	金龍山 浅草寺	浅草觀音	聖觀世音	東京都台東区浅草 03-3642-0181	浅草駅	年間400万人の参拝者で賑わう觀音信仰の中心地。江戸前1番札所でもある。		(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前8時半～午後5時
⑭	瑞應山 弘明寺	弘明寺觀音	十一面觀世音	神奈川県横浜市港南区 045-711-1231	弘明寺駅	ご本尊の十一面觀音像。(原文)	300円	午前8時～午後4時
⑮	白岳山 長谷寺	白岳觀音	十一面觀世音	神奈川県鎌倉市 0273-43-0349	高崎駅	古跡立ちこ木草。李堂向拝の本刹。天人婆羅の天井画。		午前8時～午後5時
⑯	五條山 水瀬寺	水瀬觀音	千手觀世音	神奈川県北足柄郡伊勢原 0279-72-3619	湘川駅	六角二重塔(開闢六地蔵)。		午前8時～午後5時
⑰	出流山 滅願寺	出流觀音	千手觀世音	神奈川県大和市 0282-31-1717	東京JFC 桐木駅	本堂の影照塔と奥の院護摩洞。出流山会館に210名宿泊可能。		午前8時～午後5時
⑱	日光山 中峰寺	立木觀音	千手觀世音	栃木県日光市中峰寺 0285-55-0013	日光駅	西暦784年に日光開山師道による創建。五重宝、庭之利大宝天変、安楽堂の建築あり。	大人 300円 小学生 100円	4月～10月8時～5時・11月8時～4時 12月～3月8時40分～8時半・3月10時～4時
⑲	天龍山 大谷寺	大谷觀音	千手觀世音	栃木県宇都宮市大谷 028-652-0129	宇都宮駅	日本最古の石仏(国指定特別史跡・重要文化財)。後醍醐天皇の入喰(1000年前)土器石舟。	大人 300円 小学生 70円	4月～10月8時～5時 11月～3月8時～8時半(冬休業日あり)
⑳	圓鏡山 西明寺	西明寺	十一面觀世音	栃木県芳賀郡高砂町 0285-72-2957	益子駅	鎌門・三重塔・亥の圓鏡。音門院診療所(入院可)。		午前8時～午後5時
㉑	八満山 日輪寺	八満山	十一面觀世音	栃木県久慈郡大子町 0295-7-7-0552	布隆大子駅	本尊十一面觀音菩薩(弘法大師作)坂東丸所の御堂(八周如意の供養堂)。		(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前8時半～午後4時
㉒	妙福山 佐竹寺	北向觀音	十一面觀世音	茨城県常陸太田市神林 0294-72-2078	常陸太田駅	本堂(觀音堂)は桃山時代築造の先駆として知られ明治39年国宝に指定されている。		(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前8時半～午後4時
㉓	佐三山 繁昌寺	佐白觀音	十一面千手觀世音	茨城県筑西市佐三 0295-72-1332	笠間駅	觀音初開の千手觀音造像(4月17日のみ) 南北朝時代のお前立三重塔。春のつつじ。		(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前9時～午後4時
㉔	南引山 寺落寺	雨引觀音	延命觀世音	茨城県筑西市大和 0296-58-5009	岩槻駅	春に桜(お前立新瓶)、遅い(ほんま、あじさい)(4月月初～7月中旬)秋は紅葉(11月下旬)。		午前8時半～午後5時
㉕	風波山 大御堂	千手觀世音		茨城県つくば市風波 0298-66-0126	土浦駅	認定 9.5mの御堂(常時御堂)、筑波山の眺望、梅、桜、四季桜景。		(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前8時～午後4時
㉖	南朝山 清瀧寺	清瀧寺	聖觀世音	茨城県新治郡新治町 0298-62-4576	土浦駅	けやき一本杉の御堂本尊御堂、ユーモア村、フリーアーバン、桜、梅園に至る。		(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前9時～午後4時
㉗	猿沼山 円福寺	般若觀音	十一面觀世音	千葉県夷隅郡市原町 0479-22-1741	JR 筑子駅	鐘樓・白塔・二十三夜萬國堂。天保水没伝で知られる佐原三郎頭の墓など		午前8時～午後5時
㉘	清風山 龍院院	清河觀音	十一面觀世音	千葉県夷隅郡市原町 0476-96-0217	JR 清河駅	重要文化財仁王門、馬文化財木堂・御堂・宝印塔、町文化財灰塙塔、石造宝蓋印塔。		(夏) 午前8時～午後5時 (冬) 午前8時半～午後4時
㉙	君上山 千葉寺	千葉寺	十一面觀世音	千葉県市原市中央区 0432-61-3723	JR 千葉駅	桜、牡丹。		午前8時～午後5時
㉚	平野山 高藏寺	高藏觀音	正觀世音	千葉県夷隅郡市原町 0438-52-2675	JR 木更津駅	室町末葉遺跡の本堂(床高6尺、16面塑り長歟83本で珍しい)宝越首脳の写し本尊。		午前8時～午後5時
㉛	大庭山 笠森寺	笠森觀音	十一面觀世音	千葉県夷隅郡市原町 0476-46-0536	JR 笠森駅	寶越寺は万葉羅針と云う珍しい遺物で国の後醍醐天皇時代に作成。境内は国指定天然記念物である。	大人 100円 小中学生 50円	(夏) 午前8時～午後4時半 (冬) 午前8時半～午後4時
㉜	音羽山 潤音寺	活水觀音	千手觀世音	千葉県夷隅郡市原町 0470-87-3360	JR 長者町駅	境内の銘柱は「千葉県郷土植物研究会所栽培地」に又「活音の庭(50周年)」に入っている。		午前8時～午後5時
㉝	緑道山 古寺	御古觀音	千手觀世音	千葉県夷隅郡市原町 0470-27-2444	蒲古船形駅	観音堂と向い合ううなぎ舗かな須賀の絆。開運文帳と手写文書、墨形の多宝塔。		午前8時～午後5時

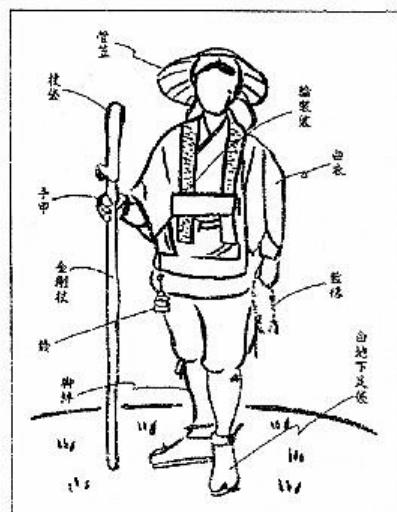
巡礼心得の事

- …、第一回目に観音の御名を唱うべきこと。
- …、再び観音の名を持って巡礼すべし。
- …、もちろんの生かぬべからず。
- …、はら裏表つけもつべし。
- …、酒をすぐすぐかるべし。
- …、兵戸口はなきようつしまべし。
- …、身のまわり全く金銭もなしもつべし。
- …、毎朝人に荷物しようしゃあらべし。
- …、食糸の發生すべし。
- …、日のうちにはよく宿を貰ふべし。
- …、私がかにセビを出まじきこと。

参拝方法

- ① 進場へ入ったら、まず水屋で口をすすぎ、手を洗う。
- ② 徒歩で禮を打つ。(自由に打てるところのみ、参拝時は戻り寝になるので追跡打たない)
- ③ 本堂向拝(入口)で所定の額に納め、写経を納める。
- ④ お灯明、蠟香、賽錢をあげる。
- ⑤ ご本尊を参じ、合掌し致謝。(心經、般若經、十句觀音経、本尊名号、四向文など)
- ⑥ 納経所で所定の納経料を納め、納経符、幣、おいするなどに譲り合いのところで納経宝印をしていただく。

【図解】装い

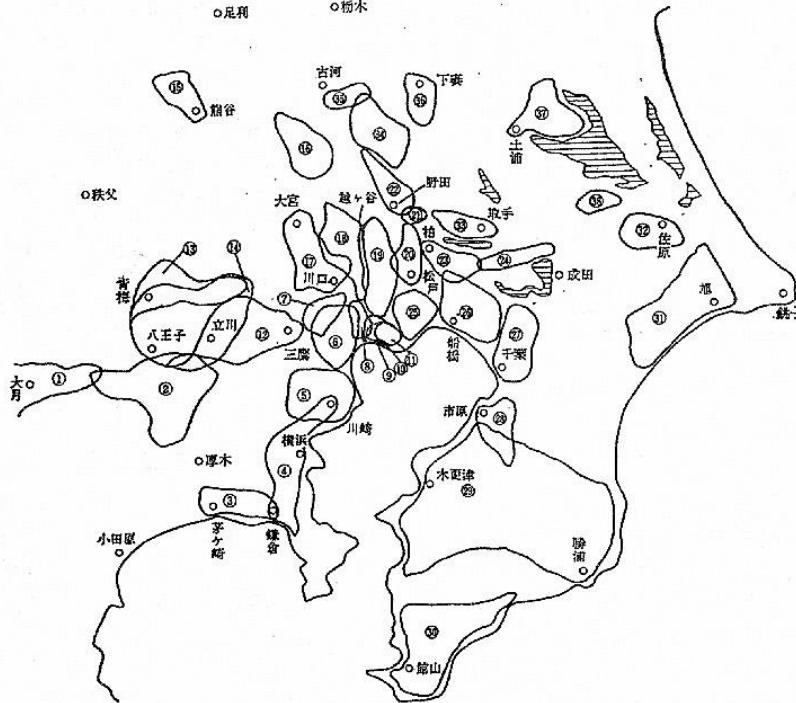


関東地方新四国霊場分布図

1 甲斐	14 武王新四国
2 相武甲	15 韶羅
3 相模	16 武州
4 東國	17 北足立
5 玉川	18 三郡
6 御府内	19 四カ領
7 豊島	20 江戸川
8 荒川辺	21 連河靈場
9 南葛靈場	22 東葛郡中郷大師
10 南葛弘山譲	23 東葛・印旛
11 東葛西領	24 印西
12 多摩	25 葛崎
13 奥多摩	26 吉橋
27 千葉寺十善講	28 市原郡
29 上締	30 安房
31 東締	32 佐原市中心の靈場
33 相馬	34 猿島岡
35 桜島岡	36 常経
37 出島	38 東村

後藤洋文氏の論文「關東地方の新四国電燈」が

-10-



新四國畧圖

天保十一年庚子年
五月江戸松氏發起

明治十六年癸未年

武井辨次郎再興

大師道始

大正三年十月設立

七十七年再興三

十三年記念トシテ

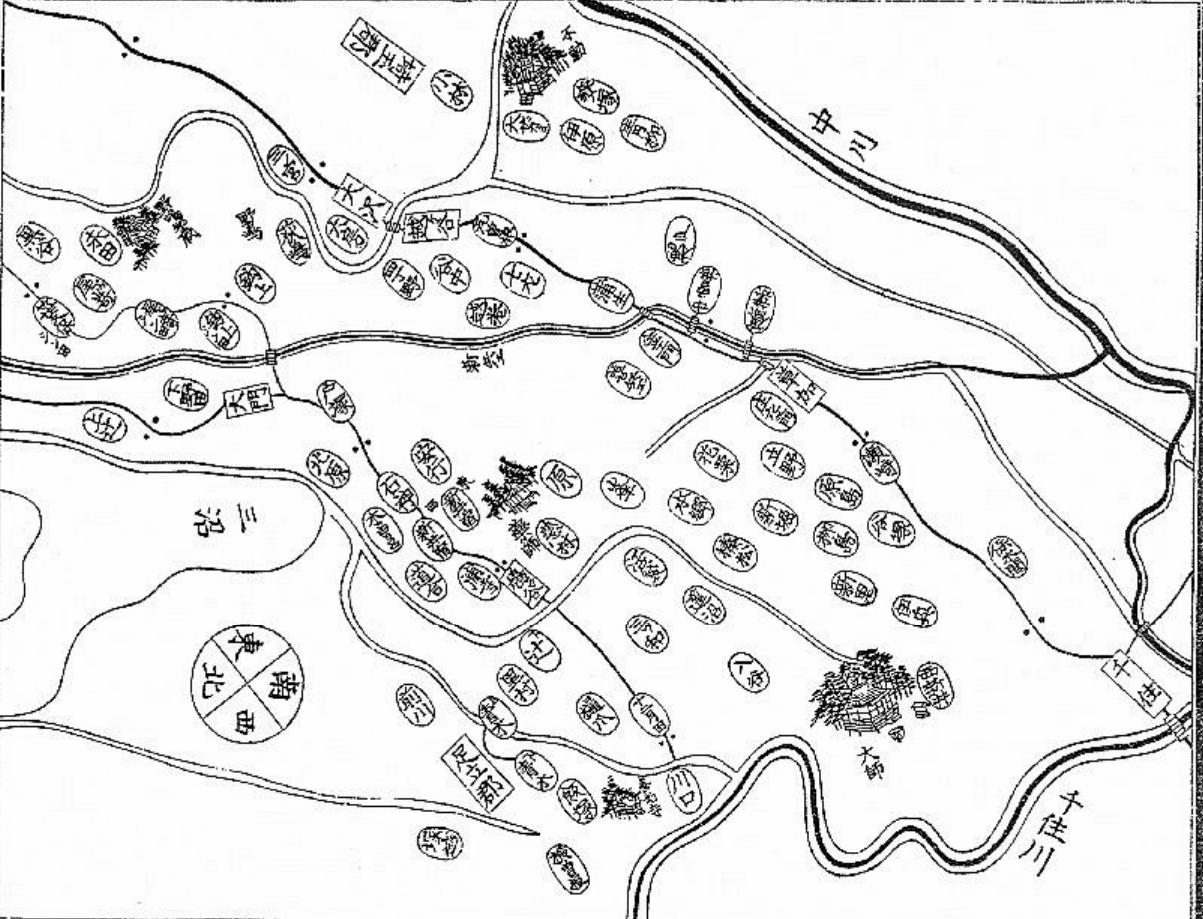
百味市手長講
チ大師寶前二

祈願ス

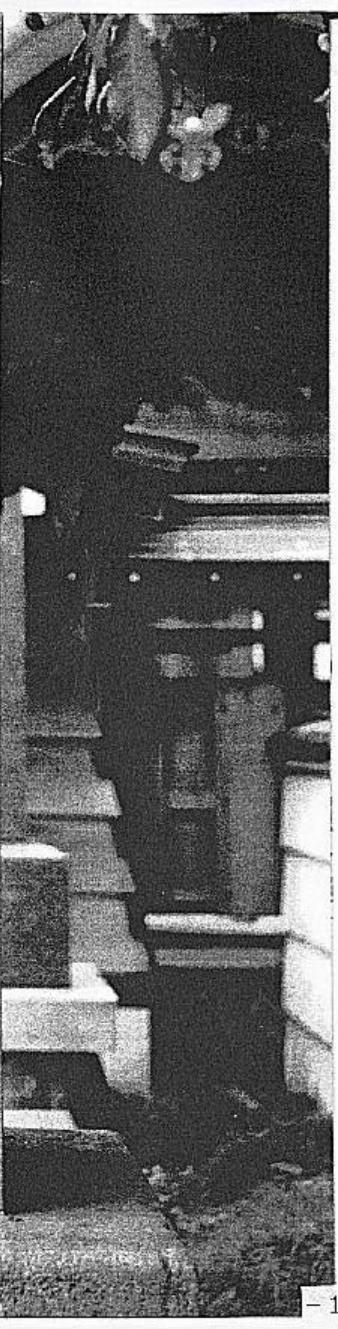
府西新井總持寺

越谷町

小泉甚花
長谷川源光
風見清次郎



壹番西新井總持寺	十六	蒲生清藏院
二伊兵妙懶庵	十七	金飼室積寺
三金寶相院	十八	善雲寺西光院
四入谷圓通寺	十九	妙巻虛空堂
五新里千藏院	二十	谷靈寶持院
六谷靈寶持院	二十一	瀬崎善福寺
七瀬崎善福寺	二十二	篠葉東正寺
八篠葉東正寺	二十三	中島大日堂
九中島大日堂	二十四	桃戶觀音寺
十桃戶觀音寺	二十五	糸原成就院
十一青柳三藏院	二十六	光明院
十二公東覺寺	二十七	大房淨光寺
十三麥塚智泉院	二十八	光明院
十四伊原成就院	二十九	光明院
十五董光明院	三十	大房淨光寺
十六大沢照光院	三十一	總持院
十七光明院	三十二	大根持院
十八大根持院	三十三	大根持院
十九大根持院	三十四	大根持院
二十大根持院	三十五	大根持院
廿一大根持院	三十六	大根持院
廿二大根持院	三十七	大根持院
廿三大根持院	三十八	大根持院
廿四大根持院	三十九	大根持院
廿五大根持院	四十	尾等勝軍寺
廿六大根持院	四十一	銅上圓福寺
廿七大根持院	四十二	保壽院
廿八大根持院	四十三	正福寺
廿九大根持院	四十四	新井宿多寶院
三十大根持院	四十五	新浦寺地藏院
卅一大根持院	四十六	信於普度
卅二大根持院	四十七	新浦八樂林寺



△資料△

蒲生光明院供養塔





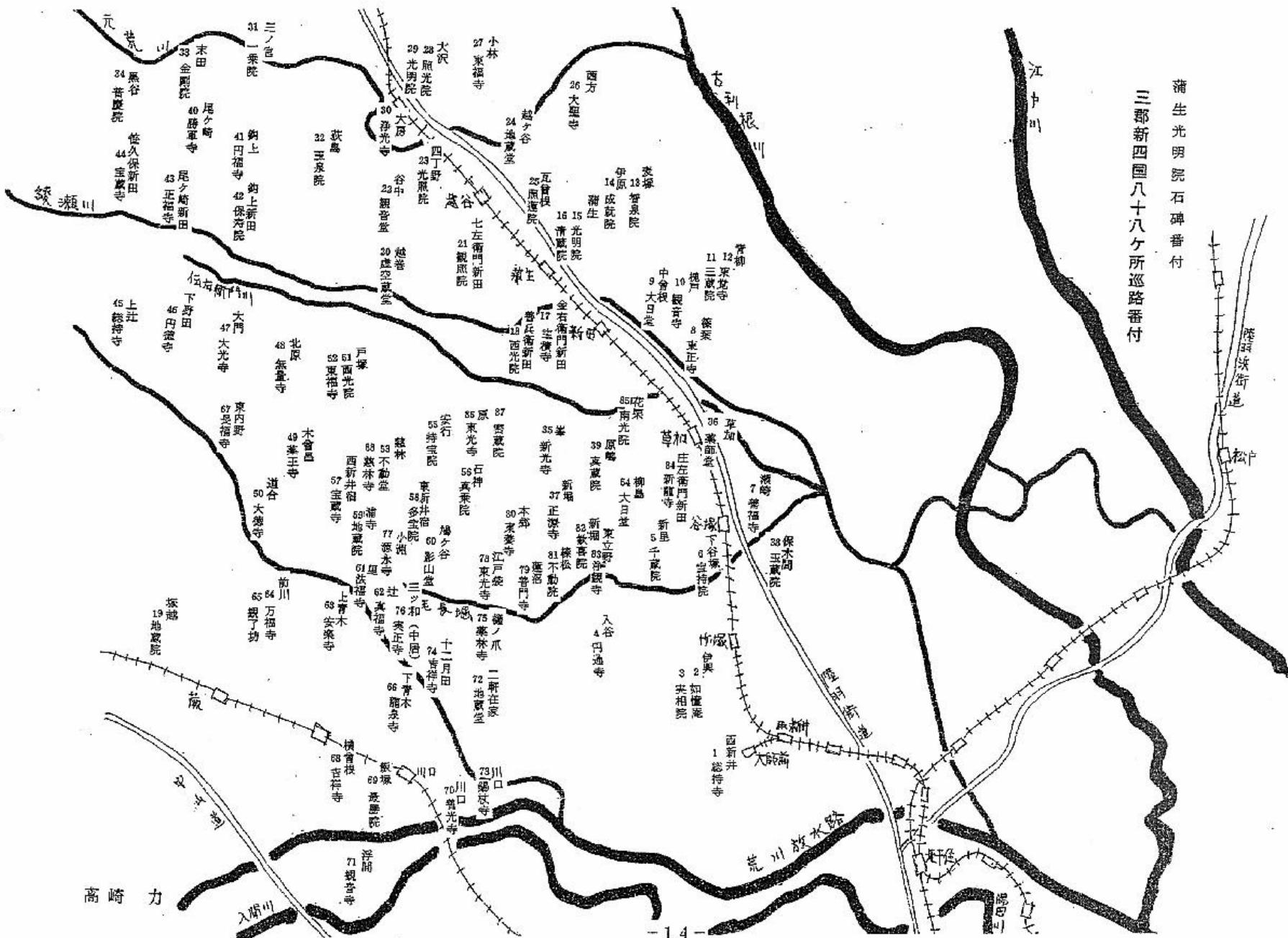
- 13 -



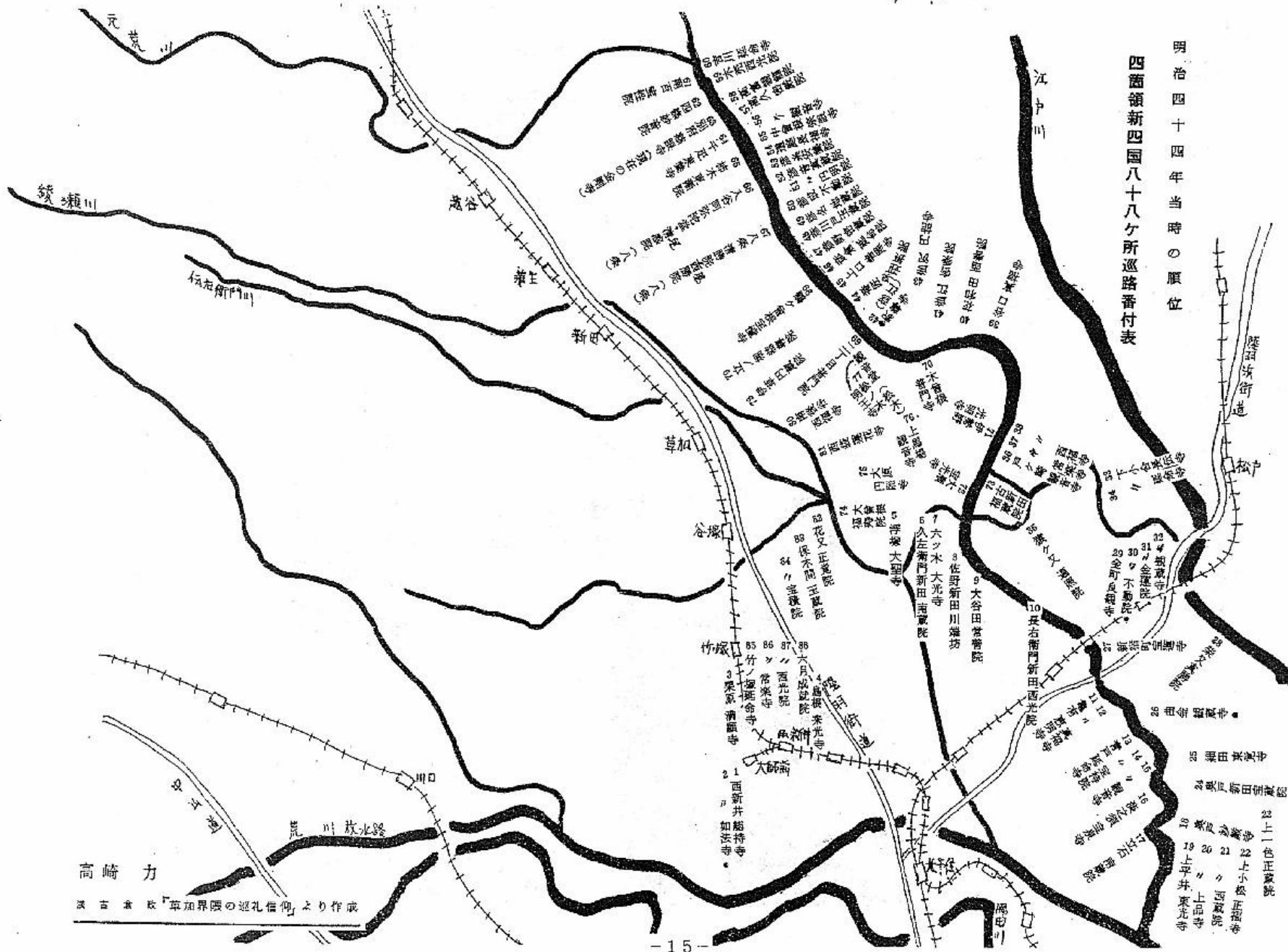
蒲生光明院石碑番付

三郡新四國八十八ヶ所巡路番付

廣雅
漢街道
松戶



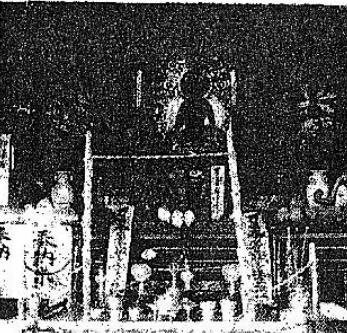
明治四十四年当時の順位



わが町 そこが 知りたい

今年は廿年で十二年、本草家がば、越谷市の大
事に回りて、いよいよ觀音
聖寺に、元文三年(一七三〇)、「せのいのな」觀音像
を奉納した。この年は、西國三十三所巡禮の年。西國三十三所巡禮は、古くは、平安時代の開創の年。西國三十三所巡禮は、坂東會にたる「武藏三十三所觀音」を司らうたす。西國の期
三十三所守護団、秋父巡礼団の版木が保存
されている。朱印門は、近世の接ぎ朱
二十四寺を巡禮しな
れど、おおむねの半日で、当
地の有り難いもので、
東部地区周辺で
は、武藏国新四国三十
三か寺觀音巡りがあ
る。印帳への記載などはない。
印帳への記載などはない。
年間の之内、一生に何回
も再来されたので、今回は
、歌謡などの調葉集など、全部
まわることにして、あ

様かしいの社まで音の綱
(せんのいのなー) 聞音録
(ききねきろく)
触(ついたい)ないでやう(やう)
をもじこなつたまゆ。四月の期
間中は、巡遊着の綱だ。朱
印帳への記載などもどう。
平生さんは、「今」に何回
も回ませんので、今回は
『詠歌』など、調音を兼ねて今は
部もわいこしていま



13番札所の三郷市番匠免の迎撃院

東部地区の3か所

武藏国新宿郡御坂山郷の、獨立した龍谷村の篠田
塙五所、八潮十所、三郷、太郎の兵衛と元村の田村一
塙五所、二所が、足利区
69年(1540)に同じ夢を見た。
「一所川口百三所、高僧があるわ。この地に
越谷市五所が、松伏町
か所となつていて。あとにきてこれの村
のほか、資料によるが後世まで栄えていく。
と吉川新田、八潮へ
うことで、一人が吉川から
一条の大曾根寺、草加市谷
近隣の村の觀音様のある
塙の大寺院を参拝するが、
寺、庄園を訪ねて駆け足で
外になつている。
由来など、これまで
多くの郷土史家が調べる寺や鬼塚場では、地元
べていざる一人の、の狂言人鬼佛のため、帰
吉川市郷土文化館市除したら境内にはまだ往
文化財登録調査の平
の角塔婆を建てたり、觀音

北條
精助

像	立	外輪山
市	十九番	西水元番
市	木曾畠	七番
市	鬼ヶ谷	八番
市	立曾坂	九番
同市	大曾根	十番
市	正觀音寺	十一番
市	正觀音寺	十二番
同市	大曾根	十三番
市	正觀音寺	十四番
市	正觀音寺	十五番
市	正觀音寺	十六番
市	正觀音寺	十七番
市	正觀音寺	十八番
市	正觀音寺	十九番
市	正觀音寺	二十番
市	正觀音寺	二十一番
同市	大曾根	二十二番
市	正觀音寺	二十三番
市	正觀音寺	二十四番
市	正觀音寺	二十五番
市	正觀音寺	二十六番
市	正觀音寺	二十七番
市	正觀音寺	二十八番
市	正觀音寺	二十九番
同市	大曾根	三十番
市	正觀音寺	三十一番
市	正觀音寺	三十二番
市	正觀音寺	三十三番
市	正觀音寺	三十四番
市	正觀音寺	三十五番
市	正觀音寺	三十六番
市	正觀音寺	三十七番
市	正觀音寺	三十八番
市	正觀音寺	三十九番
市	正觀音寺	四十番
市	正觀音寺	四十一番
市	正觀音寺	四十二番
市	正觀音寺	四十三番
市	正觀音寺	四十四番
市	正觀音寺	四十五番
市	正觀音寺	四十六番
市	正觀音寺	四十七番
市	正觀音寺	四十八番
市	正觀音寺	四十九番
市	正觀音寺	五十番
市	正觀音寺	五十一番
市	正觀音寺	五十二番
市	正觀音寺	五十三番
市	正觀音寺	五十四番
市	正觀音寺	五十五番
市	正觀音寺	五十六番
市	正觀音寺	五十七番
市	正觀音寺	五十八番
市	正觀音寺	五十九番
市	正觀音寺	六十番
市	正觀音寺	六十一番
市	正觀音寺	六十二番
市	正觀音寺	六十三番
市	正觀音寺	六十四番
市	正觀音寺	六十五番
市	正觀音寺	六十六番
市	正觀音寺	六十七番
市	正觀音寺	六十八番
市	正觀音寺	六十九番
市	正觀音寺	七十番
市	正觀音寺	七十一番
市	正觀音寺	七十二番
市	正觀音寺	七十三番
市	正觀音寺	七十四番
市	正觀音寺	七十五番
市	正觀音寺	七十六番
市	正觀音寺	七十七番
市	正觀音寺	七十八番
市	正觀音寺	七十九番
市	正觀音寺	八十番
市	正觀音寺	八十一番
市	正觀音寺	八十二番
市	正觀音寺	八十三番
市	正觀音寺	八十四番
市	正觀音寺	八十五番
市	正觀音寺	八十六番
市	正觀音寺	八十七番
市	正觀音寺	八十八番
市	正觀音寺	八十九番
市	正觀音寺	九十番
市	正觀音寺	九十一番
市	正觀音寺	九十二番
市	正觀音寺	九十三番
市	正觀音寺	九十四番
市	正觀音寺	九十五番
市	正觀音寺	九十六番
市	正觀音寺	九十七番
市	正觀音寺	九十八番
市	正觀音寺	九十九番
市	正觀音寺	一百番

大相模(現越谷市)裏大山 大聖寺 第十六世円妙上人 記

『武藏三十三所観音巡礼縁起』

この『武藏三十三所観音巡礼縁起』は、八潮市八條清勝院蔵本を底本にし、
大曾根源台寺蔵、草加市柿木東漸院蔵本で判読不能な箇所を補正した。

武藏三十三所観音巡礼縁起

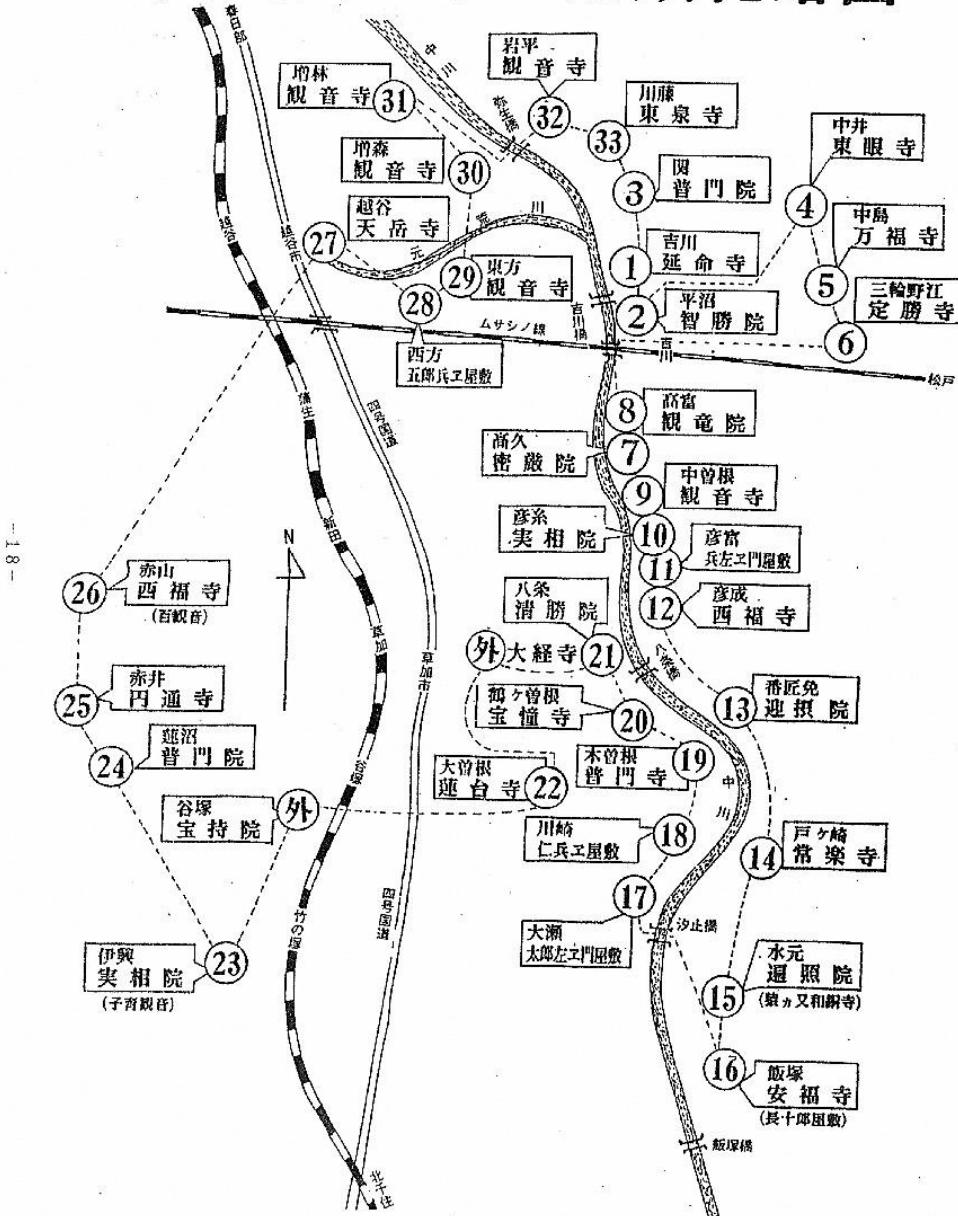
昔仁王六十五代 花山院と申奉るハ帝の御位をのかれさせ、御出家ならせ給ひ西国三十三所くわんおんの
れいしやうを御志しんじゆんれいし給ふとかや、しかしよりこのかた國々にふもんのじげんあらハして、
くわんおんさつたのれいじやうを三十三所さだめさせ給ひ、きせんなんによじゆんれいして一世あんらく
をいのる事、花山のみかとの御ほんとくわんおんおん大ひの御ほうべん、げにありがたき御事なり
抑武藏國じゆんれいのゆらいをくわしくたつねれ、二郷半領吉川むら太郎兵衛門三郎右両人のみちども
ハいか成くわ音の御えんにや、くせくわんおんをしんからし、いやしきしわざの間にもししばらくわするゝ
心なし、一人りのしんやつうじけん、ある夜れいむをかんじけり、世にたぐひなきおんそりの一人来りの
たまふやう、此國のざい／＼にもくわんおんさつたのれいげんなる三十三所のれいいちあり、じひしんぐ
けんごにて、一度じゆんれいする人ハ十あく五ぎやくのゆきしもゝ大ひのひかりにとけながれ、けんぜハ
そくさいあんおんに、ごしやうじやうどのことまとも、かならずうたがふことなけれど、なをありかたき
御ゑいかを一しゆさづけ給ひけり

ふたらくやきしりつなミのよし川も

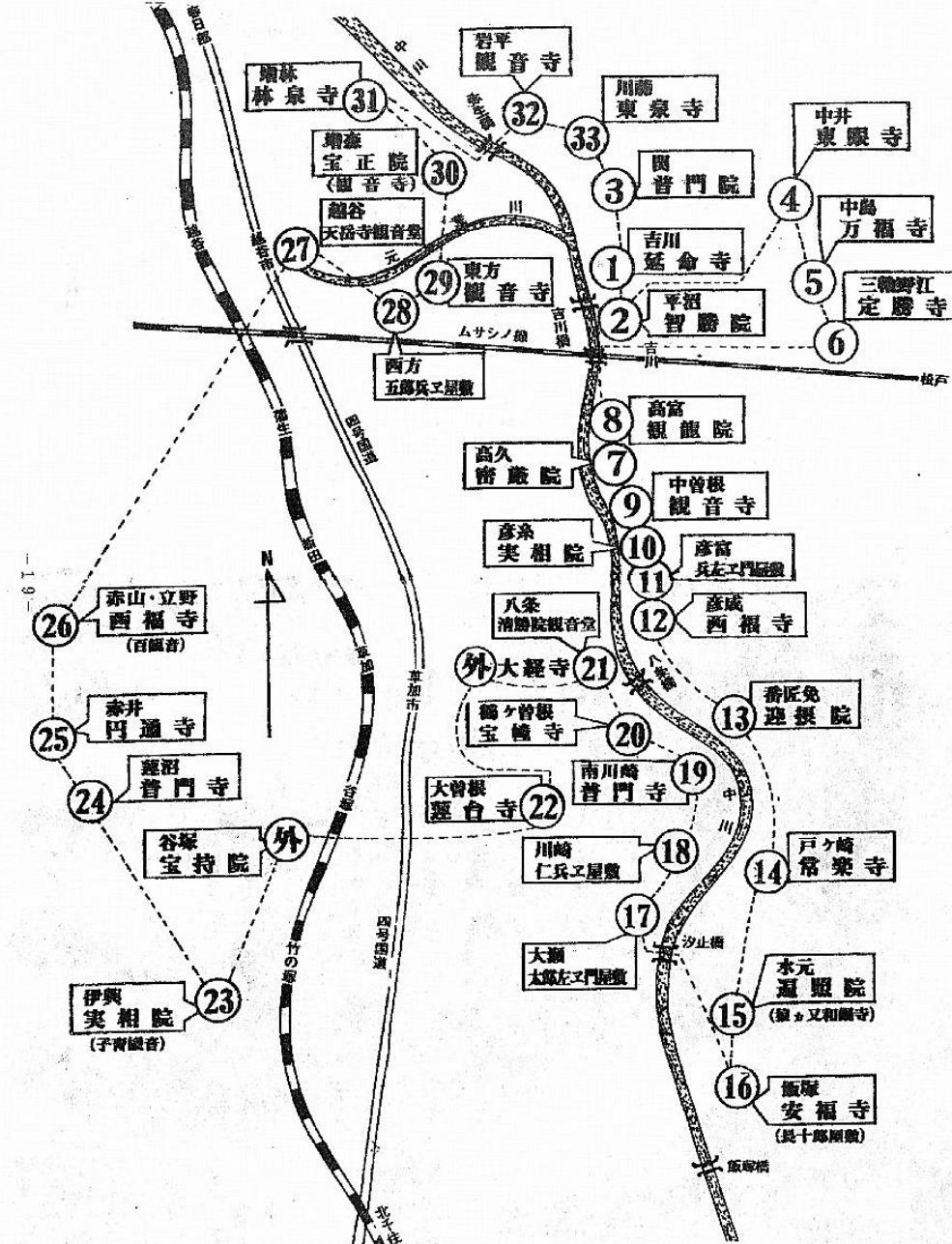
なちのお山とおなじひゞきそ

かくつけ給ひて、御そうへわれこそくまのごんげんの御つかひなりとのたまひて、ひかりをはなちとび給
ふ、ゆめのうちのありかたきハしんぐ／＼きもにめいじつゝ、御あと三度ふしおかミ、さてそれよりも兩人
きいのおもひをなし、夜もほの／＼と明けれハ、兩人たがひにいであいて、はじめおハリの御れいむをく
わしくかたりあハするに、すこしもたがふことなけれ、かんるいそでをしほりけり、かくて兩人きせいし
じめとして、三十三所のれいじやうを、しだひにしんぐ／＼じゆんれいし、いとねんころにせいぐわんし、
ふだ打おさめたてまつる、なむ大じ大ひの御えんにて、一さいしゆじやうわれともにたすけ給へと兩人い
よ／＼信心いやまして、此じゆんれいの御りやくをあまねくすゝめ來り、二世安樂の誓願をふてのあとに
ものこしおきのちの世までもつきせんと、あるときぐわんしゆひんだうがしつにきたりてはんかうせり、
まことに両おうのしんぐ／＼をきくにつけてもかんじ入りもだしがたく、とりあへずそくしにうつしあたふ
るなり、必ずどうしの人々ハしんぐ／＼じゆんれいし給ふべし、じゆんれい所のしだい、以下くへし見へた
り

—武藏國三十三所順礼略図—



武藏國三十三所順礼略図



蒲生光明院供養塔

正面

四
国

四国・西国・秩父・坂東

四

蒲 稗 明 治
生 田 十

同 同 同

柳島

四

同

樞
爪

花
栗

同

新伊原同堀

須九花行篠伊赤谷上榛小三ノ宮
左賀田居葉興山中木松同林同

坂巻 金子 鈴木 会田 石塚
川内 舟藤 中村 飯田
天野 藤山 勝山
松沢 秋山

啓次郎 竹右衛門
亀藏 弥市
佐右衛門 治郎 左衛門

高野山大明王院ニ於テ十善戒ヲ受ク
法名 覚法ト云

明治三十六年四月

開眼導師 真大山主 隆円 大和上

願主 蒲生 大熊治右衛門

石工草加町

七十二 建立
青木 宗次

西新井大師

三都送大師

舊唐書三十六傳

王晉山法主鑒

小曾川村の六十六部回国塔

所在地 小曾川・田口家（小曾川三三〇）路傍
石塔型式 頭部山状角柱型（南面向き・高さは高）
年号 明和五年（一七六八）

〔左側面〕

おひの身で 隨喜施主 小曾川村田口源右衛門
廻る日の本 助金二分 田口沢右衛門
今爰に 助力供養 所々善男女等

如我有祈願

まくうれしき

※「まく」は「まい」とか「まして」の誤りか。

〔正面〕

六 六 十 天 六 八 下 部 和 清 頤 順 洋 塔

〔右側面〕

行者 俗名齋藤徳右衛門
法名植道宗本自題

武藏國埼玉郡越谷庄齋藤徳衛門者至野鳴村而住于小曾川郷人也
當欲奉納經曰域六十六州歲已久終不忍止寶曆十二年暮春出鄉遍□(歴)
南西北中諸國而順禮神社仏閣四ヶ于茲乃還鄉中間仰供養復明和二丙
戌三月趣奥州窮坂東越年丁亥五月帰郷前後六年而納經上畢其間一日
再宿厚恩捨財一鉢助力鳴呼幾乎平身身心堅固所願滿足皆是憑於三寶加
護蒙平衆人慈愛也依之為報恩謝德彫刻造箇石碑藏置於神社仏閣寶印
在々所々寄宿日記信施俗名法名等以為願滿供養塔則永劫當不朽如是
宿徳本增長善根則汝等々皆當作佛豈遠乎故感心餘不忍措如今稱
植道宗本寄述其意趣云爾

于時明和五星庚子歲三月下浣

野嶋山寺山禪寺現住賀麟叟誌之

〔裏面〕

願以此功德
普及於一切
我等與衆生
共成仏道

※右側面の漢文の書き下し文は次のとおりである。（越谷市宮本町二一

一一七—六の鈴木秀俊氏による解説）

武藏國埼玉郡越谷庄齋藤徳「右」衛門は、野鳴村に産れ、而して
小曾川郷に住する人なり、当に日域六十六州に納經奉らんと欲して、歳
已に久しう、終に止むるに忍びず、宝曆十二年暮春、郷を出て
遍歷す、南西北中諸國の神社仏閣を頤礼して四ヶ「年」、茲に乃ち郷へ
還り、中間の供養を伸ばし、復明和二丙戌「年」三月、奥州に趣き、
坂東を研めて越年し、丁亥「年」五月に帰郷す、前後六年にして納經を
幸身心堅固、所願満足は皆是三宝の加護を憑る、衆人の慈愛を蒙るなり、
之に依り報恩徳の為に彫刻せる這箇石碑安置、神社仏閣宝印に於いて、
在々所々寄宿日記、信施の俗名法名等を以て願満供養塔と為す、則永劫
當に朽らず、是の如し、宿徳本、善根増長す、則、汝等々皆作仏に
当たり、豈遠乎故、感心の余り措くに忍びず、今の如く植道宗本と称す、
其意趣を窺かに述べ、爾云々

時に明和五星庚子歲三月下浣

野嶋山寺山禪寺現住賀麟叟之を誌す

344-0023
春日都市大枝八五九一五
加藤 幸一
電話〇四八一七三八一四一八一



小曾川村田口源右衛門[小曾川三三〇]路傍
六十六部回国塔

天保期に、金毘羅社参詣者のため、丸亀の湊に建てられた江戸講中の銅灯籠の寄進者のうちに越谷宿の人物が台座に記名されている。

位號	居所	名前	種類	備考	重複
1 灯籠5 ▲武州瓦曾根村	井木長次郎				埼玉県越谷市
2 灯籠5 ▲同(武州)越ヶ谷新町	山金源兵衛				埼玉県越谷市
3 灯籠5 ▲同町(武州越ヶ谷新町)	柳屋忠兵衛				埼玉県越谷市
4 灯籠5 ▲同(武州越ヶ谷新町)	松本利兵衛				埼玉県越谷市
5 灯籠5 ▲同(武州越ヶ谷新町)	龜屋安右工門		X		埼玉県越谷市
6 灯籠5 ▲同(武州越ヶ谷新町)	柳屋當右工門				埼玉県越谷市
7 灯籠5 ▲同(武州越ヶ谷新町)	松本長兵衛				埼玉県越谷市
8 灯籠5 ▲同(武州越ヶ谷新町)	同(松本)伝右工門				埼玉県越谷市
9 灯籠5 ▲同(武州越ヶ谷新町)	●世説人 同(松本)傳兵衛				埼玉県越谷市
10 灯籠18 ▲武州埼玉郡理森村	富澤半兵衛				埼玉県越谷市
11 灯籠21 ▲(武州)越ヶ谷在増林村	小川貞助				埼玉県越谷市

◎江戸出入商人の登場

幕邸に滞在していた3人が、江戸藩邸の役人に相談

すでに江戸の僕主には断られる

役人は、当初対応する気がなかったが、すでに幕府へ届け出でおり、又、國元でも積極的なので、仕方なく対処。

→「伊勢屋喜兵衛加様ニ事ニ功者、且先年金見難へ新島居 今之四神の形額付表候也
奉納願仕候事」 *虎ノ門金毘羅社の銅鳥居(文政4(1821)年10月建立 現存)

→伊勢屋は回客を保留した上で、河内屋伝兵衛・三島屋半七・林屋半六・三河屋善助を隣の免店に引き込み、五人で江戸の隣の運営を請ける

○譲のしきみ

伊勢屋の「常夜灯千人譲」計画

・譲の加入者 1人につき毎月錢100文ずつ五年間納める。

1000人×100文×60ヶ月=錢6000貫=約900回

購入は、「御官振り御役所」へ納金→常夜灯の建築費・永代油料

・加入者の特典 毎月加入者の裏選長久を丸亀の祈禱所で祈願/

②參詣の際には、世説人を通して縁札を受け取り、祈禱所で札守と引換

・加入者の獲得方法 諸が出入商人へ身分に応じて人数を設定、懇意の者を加入させる。

1冊10人ずつの月掛の帳面を3冊、あるいは5冊渡す。

・譲錢の集金 出入商人がまとめ、毎月10日の虎ノ門の金毘羅社の公開日に、前月分を持参。受取所は混雑を避けるため、神前と別に設ける。金を受け取ったら、受取の帳面を別に渡し、これに受け取り印をもらう。10日に納金ができなかった場合には、11・12日に納める。

・30人以上を加入させた者へは、旅費3両を支給し、毎年5人を5年間の内に丸亀の金毘羅社に参詣させる。参詣者は、毎年2月の寄合で総をひき、決定する。

○譲の開始

・天保3年3月 出入商人を加賀町の梅松塾に呼び出し、帳面を渡す

・同4月10日より開始

・参詣と参詣の例

東社

虎ノ門

金刀比羅宮

御由緒

一、祭神

大物主神

配祀

崇徳天皇

二、大祭

十月九日十日

三、祭日

毎月九日十日

當宮は虎ノ門金刀比羅宮と称し、東國名社の一つ。創祀は万治三年（一六六〇年）九

月。龜齋主京極高和、謀攻金刀比羅大神をその邸内に御請したるものにして、虎ノ門金刀

比羅宮と名せらる。爾來毎月十日市民の要請によりて、邸内を開き群參を許せりと

云。明治二年四月神祇官の沙汰を蒙り革比羅神社と社号改称。同四年六月京極家

所有地と社地を分割し、次いで同年三月八日府社に列す。明治二十二年九月七日

金刀比羅宮と改称現在に至る。明治七年二月十四日「一品有栖川宮機」親王御參拜、

明治十七年十一月二十七日大正天皇御「事」モセし時親しく御立奉り御手あいせら

れたり。明治四十年五月四日神祇局御祭典指揮。

社殿は本殿、幣殿、拝殿、神楽殿、舞楽殿、社務所、講堂、東門、西門、中門あり。

御神籠は五穀豊饒、殖産興業、大漁護定、海上守護の神として、とりわけ招福除災

の意極烈なれば、信徒は全国海外に亘り社頭また腰盛を喰む」と東都第一と称せらる。

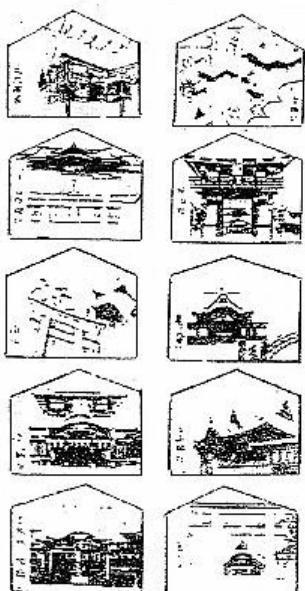
當宮の信者は関東地区一円に分散し遍く關西九州または東北、北海道外に亘り、数百万を数える。毎月十日の参者は、戦前三十万と称せられたり。特「」縁日商は当口、社前より北は溜池、南は新築に達なり混雜を極む。当宮攝社の団体数は跳子大漁祭を始め、その数約八百あり。戦前、縁日当日の都電の調査によれば、虎ノ門乗降客は二十三万と報ぜられ、米、酒、青物などの駄物殿内を埋め、船舶各種、洋

業農家を始め下町商家あるいは東都各三業の地に著者を有し、招福除災家門繁榮の御神籠は当宮の御神紋九金と共に御神性はよいく廣く、今日も尚大衆の信仰に親しまれたり。尚、當宮は信徒の体験記録をかつて数千巻を収藏せり。



東京十社めぐり

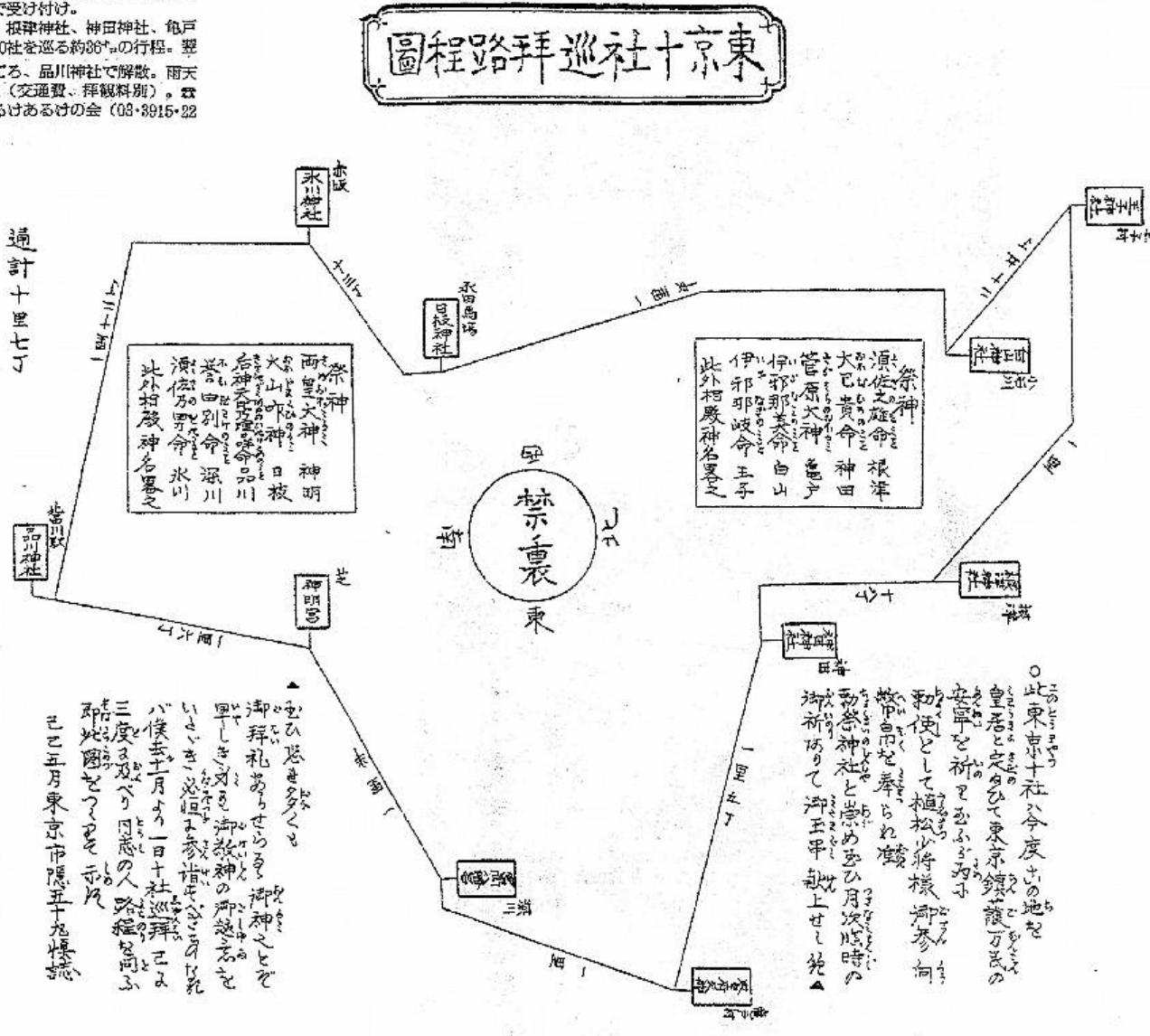
元准勅祭神社



〔参拝記念の絵馬は、各神社で授与いたしております。〕

◆初詣！ 東京十社ナイトウォーク
31日㈫、午後10時半～11時15分、東京都
北区王子1丁目の飛鳥山公園中央広場
(王子駅)で受け付け。

王子神社・根津神社・神田神社・龜戸天満宮など10社を巡る約80kmの行程。翌日朝10時半ごろ、品川神社で解散。雨天決行。500円（交通費、拝観料別）。アスカ山あるけあるけの会（03-9915-2212）。



越谷市郷土研究会に入らせてみませんか！

越谷市郷土研究会とは

(平成十五年1月現在)

- ◎史跡めぐりなどのイベントを毎月実施し、また、毎年、越谷市民まつり・越谷市民文化祭・こしがや文化芸術祭に展示部門で参加しております。
- ◎当会は、昭和四〇年(一九六五)三月に発足しました。

以後地道に活動し、現在は会員数が二八〇名程の大所帯となりました。

ほぼ毎月行われる史跡めぐりは三一〇回を数えるまでになりました。

◎当会の平成十二年以降の主なイベントをあげますと次のとおりです。

平成十一(1999)年一月三十日(日) 講師 元埼玉県立さきたま資料館長大村進氏

「創立三十周年記念講演会」(後援は越谷市教育委員会・文化連盟)

平成十一(1999)年九月一日(土) 平成十二年度「歴史講座」を開始(全五回)

平成十三(2001)年八月一(土) 十六日(日) 奥州街道四〇〇年・記念歴史講演会(会員の講師氏)

平成十三(2001)年九月一(土) 十四日(日) 奥州街道四〇〇年・記念歴史講演会(会員の講師氏)

以後、「南越谷・北越谷」(十円)、「北越谷・せんげん台」(十一円)と実施。

平成十四(2002)年三月二十四日(日) 三百回記念史跡めぐり・力石を諏訪に訪ねる。

長野県の現地の新聞に大々的に取り上げられ、卯之助の力石が紹介される。

平成十四(2002)年六月三十日(日) 歴史講演会「平田篤胤と越谷出身の妻おりせ」

平成十四(2002)年八月一(土) 十四日(日) 歴史講演会「県東部を中心とした仏像」

平成十四(2002)年九月十一日(水) 史跡めぐり「秩父札所めぐり その一」

以後、秩父札所めぐりその一(10月)、その三(11月)と実施(観光バス使用)

平成十五(2003)年一月三日(金) 恒例の七福神めぐり(北千住方面)

◎会報『古志賀谷』の隔年の発行(B5版、百十・百五十頁程度)及び無料配布

内容は主に会員による郷土の調査・研究の報告や隨想の寄稿文などです。

※なお、以上の他に、越谷市社会福祉協議会への寄付活動なども行ってきました。

郷土研究会にお入りになりますと

- ◎すべてのイベントの案内が受け取れます。
- セッカクよい行事があったのに知らなかつた、といふことがありません。
- ◎会員だけのための特別行事に参加できます。

郷土研究会の会員限定イベント(例えばバス史跡めぐり等)にも参加できます。

郷土研究会にお入りになるには

- ◎会費は、年間一千円(四月～翌年三月、会報・諸案内状・諸会議費等)です。あなたでも気楽に入会できます。市外の方でも歓迎致します。
- ◎申し込みは、はがきに「平成何年度より入会」とお書きのうえ、住所・氏名・電話番号を記入し、下記までお寄せ下さい。
- または、当会の各種行事の際に、郷土研究会役員までお申し込み下さい。

☎343-0806 越谷市 富本町 三一一七一八 谷岡隆夫方

越谷市郷土研究会

60回記念